

二次交通空白地域調査事業について

二次交通専門部会事務局

観光立国推進協議会二次交通専門部会では、今年度、特定エリアにおける二次交通空白地域調査を実施する。

1 調査実施エリア

宮城県

《選定理由》

調査を行ううえで、そのエリアのベースとなる拠点（空港や駅）、観光スポット、観光客数などの適度なバランスが必要と考えるが、東北エリアの一大拠点である仙台空港や仙台駅を有すること、松島や有名温泉などの観光要素も多いことなどから、宮城県を選定した。

2 調査内容案

二次交通の充実度を示す項目は、交通拠点、観光資源、路線バス、タクシー、レンタカー、レンタサイクル、駐車場情報など様々あるが、時間やコスト面を勘案し、2019年度は路線バスに絞り、上記エリアにおいて地図上にプロットした路線バスデータと、観光資源（位置、訪問客数を反映）を照らし合わせ、そこがリンクしないところを「空白地域」として定義し、この「空白地域」が実態と合っているかを検証し、妥当性が高ければ、水平展開を図っていく。

3 今後の課題

路線バスデータの抽出方法

観光資源の選択・把握方法

単純往復だけではなく周遊型の移動状況調査が可能か など